

令和2年(2020年)6月22日

保護者の皆様

国立市立国立第二小学校長 小林 理人

国立第二小学校 創立70周年事業について

2月末から続いた緊急事態宣言が解除され、子供たちの笑顔と歓声が学校に戻ってきました。

久しぶりの学校に緊張や不安もあった子供たちの表情も、毎日の分散登校で少しずつ和らき、友達との生活や、学習への意欲の高まりを感じます。保護者の皆様のご協力、ご家庭での声掛け等の温かい支えに感謝いたします。

しかし、新型コロナウイルス感染への心配や不安がなくなったわけではなく、第2波・第3波の到来も視野に入れた準備が必要です。「コロナとの共存」「アフターコロナ」「新しい日常」など様々な言葉で表現される生活スタイルや考え方の確立が大きな課題となります。

創立70周年を迎えて

本校は今年度、創立70周年を迎えました。校舎の建て替えを控えた大きな節目となる年度となります。昨年度、保護者の皆様には、記念品の作製など、70周年記念行事に向けてご協力・ご支援をいただき心から感謝申し上げます。

また、子供たちも、今年度が70周年の節目となる年であることを意識して、臨時休業中の自由課題としてゆるキャラづくりに挑戦するなど、関心をもって取り組んでいます。子供たちが考えた作品は、学校生活の様々な場面で活用し、70周年記念事業を進めていきたいと思っております。

計画の進捗状況

創立70周年に向けては、「つづく つながる 夢を育てる学び舎」を合言葉に2年前から計画を立ててきました。本来ならば、その計画に従い、桜の接ぎ木や記念誌の作成など、子供たちや皆様とともに準備を進めたり、学校だより等で計画の詳細を説明したりすべきところですが、活動の自粛や臨時休業が継続的に続いたために、計画通りの実施できていない現状があります。

残された時間にすべきことは・・・

先週から時差登校による学校再開となりましたが、全ての教育活動が安心してできるようになる時期が予想できない状況にあります。さらに、臨時休業した2か月間の学習保障や、子供たちが楽しみにしている学校行事の実施のための時間を確保することも大きな課題となっています。

2年間で行う70周年記念事業

このような現状や課題を前向きに受け止め、歴史的にも大きな節目となる70周年記念行事をよりよく実施するために、記念事業を今年度のみの取組とするのではなく、来年度も含めた2年間で実施する事業として計画の見直しを行います。

具体的には、子供が学習の一環として準備に関わり、その成果発表の場として計画した記念式典と記念誌づくりを次年度に見送り、今年度から2年計画で進めていきます。

また、今年度の情勢を踏まえて「今できること」を中心に1年目の記念事業を進めていきます。具体的には9月を目途に計画をまとめ、皆様にお知らせいたします。ご理解、ご協力の程、お願いいたします。